

# AL6\_Cal

説明書

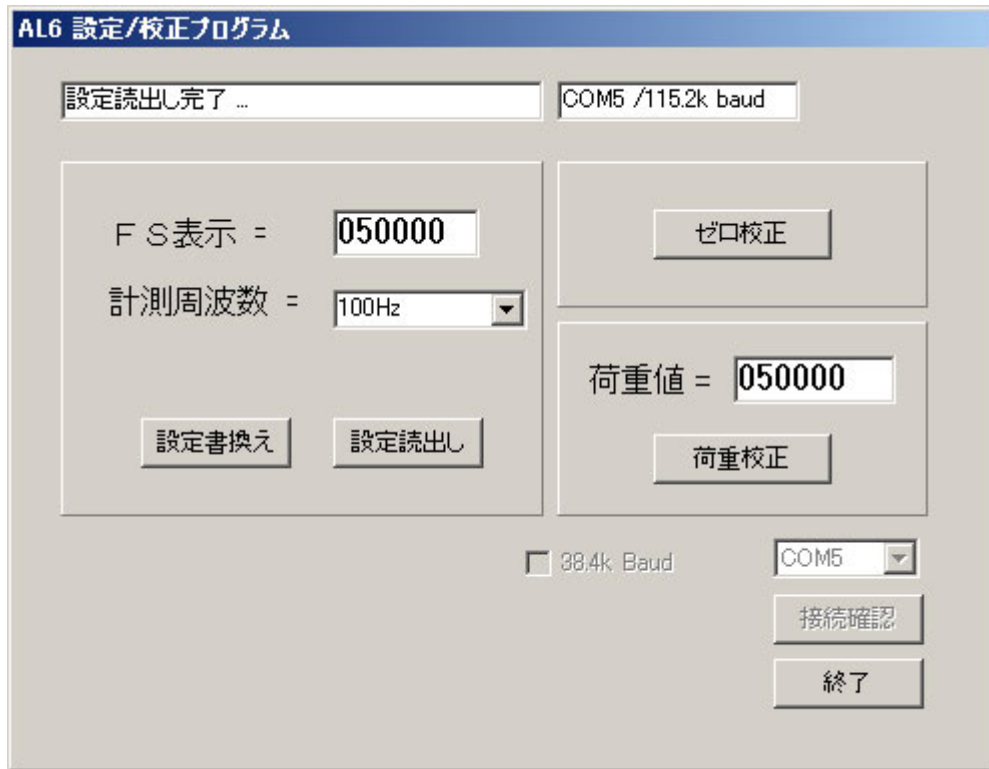
2022 年 8 月 5 日

有限会社オメガ電子  
<http://www.omega-denshi.com>

## AL6\_Cal.exe

### 概要

AL6\_Cal.exe は、ロードセル変換器 AL6 の校正、設定変更用ソフトです。



### ダウンロード

AL6\_Cal.exe は弊社のホームページからダウンロードしてください。

### はじめに

AL6 は PC と USB ケーブルで接続して下さい。このときドライバソフトをインストールして下さい。

AL6\_Cal.lzh を解凍してできるフォルダの中の「AL6\_Cal.exe」を起動してください。

通信速度は標準では 115200 ボーですが、アンプ基板の DIPSW1=ON にすると 38400 ボーとなります。38400 ボーのときは、AL6\_Cal の画面の「38.4k baud」にチェックを入れて下さい。

COM 番号を選んでから、「接続確認」ボタンで AL6 との接続が正常であることを確認して下さい。

上の画面は COM5 で接続確認が正常にできたときのものです。

接続確認ができたなら、最初に設定、次に校正を行って下さい。

### 設定

最初に、フルスケール表示値と計測周波数を設定して下さい。

FS 表示値: 001000～500000 の範囲の値を設定します。

設定値が 6 桁になるように、必要なら先頭に 0 を付加して下さい。

計測周波数: 周波数のリストから選びます。

接続確認ができている状態で、「設定値書換え」ボタンを押して、設定変更します。  
通信速度が 38400 ボーのときは計測周波数は 200Hz までしか設定できません。

## 校正

校正作業は、上記の設定のあとで、ゼロ校正、荷重校正の順に行ってください。

### 1. ゼロ校正

ロードセルをつなぎ、荷重を加えない状態で、「ゼロ校正」ボタンを押すと、ゼロ校正が始まります。

ゼロ校正作業中は、ロードセルを安定な状態に保持して下さい。

ゼロ校正には約 5 秒かかります。

ゼロ校正の受付範囲(オフセット可能な範囲)は、測定可能範囲の±50%です。

### 2. 荷重校正

ロードセルに荷重を加えた状態で、そのときの荷重値を設定し、校正を行います。

校正を行う荷重値は、FS 表示値として設定した値を越えない値としてください。

荷重校正の受付範囲は、測定可能範囲の±85%です。

引張荷重、圧縮荷重、どちらの荷重でも校正が可能です。

荷重値の欄に符号+6桁で校正時の荷重値を設定して下さい。

例 1: フルスケール表示「50000」、荷重校正値「25000」のとき、荷重値=「+025000」とする。

例 2: フルスケール表示「20000」、荷重校正値「-15000」のとき、荷重値=「-015000」とする。

荷重校正作業中は、ロードセルに対する荷重を安定な状態に保持して下さい。

荷重校正には約 5 秒かかります。

<注>AL6 の仕様、および本説明書の内容は予告なく変更することがあります。